

# 鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議

日時：令和7年11月12日（水）

午前9時30分から

場所：鎌ヶ谷市役所6階

第1委員会室

## － 会 議 次 第 －

### 1 開 会

### 2 自己紹介

### 3 議題（議長）

（1）会長の選出について

（2）会議の公開について

（3）会議録署名人の選出について

（4）「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度事業に係る効果・検証」について

ア 事業概要（事務局説明）

イ 質疑応答・意見交換

（5）「令和5年度国補正予算デジタル田園都市国家構想交付金 令和6年度開始事業に係る評価及び検証」について

ア 事業概要（事務局説明）

イ 質疑応答・意見交換

（6）その他

### 4 閉 会



## 【目次】

1	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和6年度事業に係る効果・検証について・・・・・・・・	1
2	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和6年度事業実績一覧・・・・・・・・	8
○	危機管理体制・防災対策の強化・・・・・・・・	8
○	消防・救急・救助体制の充実・・・・・・・・	12
○	良好な居住環境の確保・・・・・・・・	19
○	治水対策の推進・・・・・・・・	23
○	子育て環境の充実・・・・・・・・	27
○	保育サービス等の充実・・・・・・・・	34
○	学校教育の充実・・・・・・・・	40
○	児童・生徒の健康及び安全等の確保・・・・・・・・	47
○	快適な公園・緑地空間の創出・・・・・・・・	53
○	安全に利用できる道路環境の充実・・・・・・・・	58
○	魅力ある都市機能の充実・・・・・・・・	65
○	商工業の振興及び観光施策の充実・・・・・・・・	70

## 「第2期鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

### 令和6年度事業に係る効果・検証について

#### 1 はじめに ～国と市の地方創生について～

国は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指すため、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところです。

これを踏まえて、本市は、平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ケ谷市人口ビジョン」や、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各施策の推進に取り組んできました。

地方創生に関しては、国及び地方における総合戦略に基づき、本格的な事業展開を進め、令和元年度に5年間の事業期間が終了したことから、国では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和元年12月に閣議決定し、引き続き地方公共団体と一体となって、地方創生の深化に取り組んでいます。

本市は、国の第2期総合戦略の策定を踏まえ、令和元年度に計画期間が終了する「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を1年間延長した「改訂版」を策定したところですが、令和3年度からは、「鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画」に、「第2期鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する計画として策定し、人口減少対策及び地方創生を進めるものとしています。

#### 2 総合戦略の推進について

本市の「第2期鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画」における5つの基本目標を踏まえ、重点的かつ優先的に、また横断的に取り組むものとして定めた3つの重点プロジェクトを中心に推進しています。

この重点プロジェクトは、今後解決すべき課題、市民意識調査結果、社会情勢の変化等を踏まえて決定しています。

なお、本市は、企業版ふるさと納税に係る寄附を充当できる事業として、令和3年3月に策定した地域再生計画において、総合戦略の具体的な事業である重点プロジェクトを掲げており、毎年度1回、鎌ケ谷市地方創生総合戦略推進会議による効果検証を行い、その結果に基づき、必要な改善を事業に反映することとしています。

## プロジェクト 1

### 誰もが安心して暮らせる 防災、減災のまちづくり



- 重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化
- 重点施策② 消防・救急・救助体制の充実
- 重点施策③ 良好な居住環境の確保
- 重点施策④ 治水対策の推進

## プロジェクト 2

### 未来を担う子どもをみんな で応援するまちづくり



- 重点施策① 子育て環境の充実
- 重点施策② 保育サービス等の充実
- 重点施策③ 学校教育の充実
- 重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

## プロジェクト 3

### 人が集い、住みたい魅力 のあふれるまちづくり



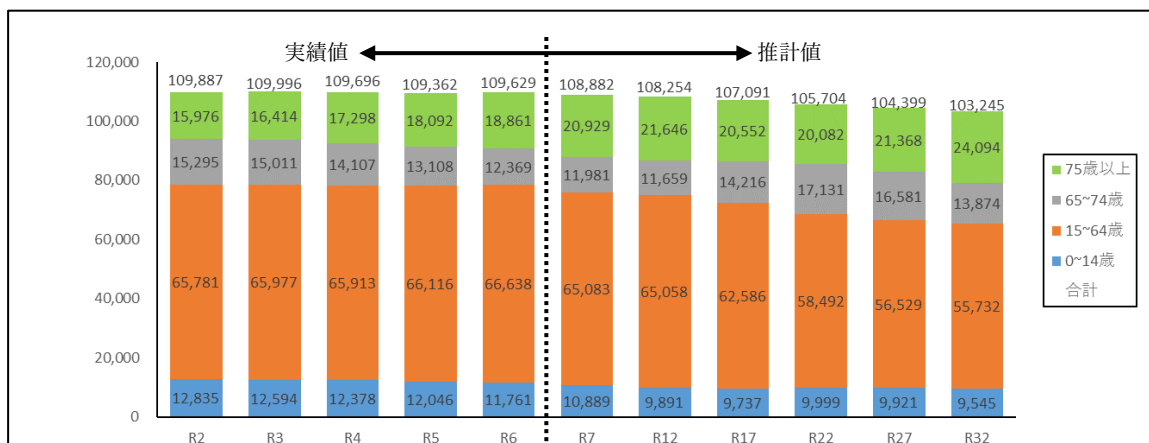
- 重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出
- 重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実
- 重点施策③ 魅力ある都市機能の充実
- 重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

### 3 本市の人口推計について

本市の人口は近年ほぼ横ばいで推移し、約11万人となっています。

一方、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、将来的には減少傾向となり、令和32年時点では103,245人になると見込まれます。

しかしながら、平成28年度以降は社会増減（転入者－転出者数）において転入超過となっており、また、令和5年以降は15～64歳の生産年齢人口も増加に転じています。令和7年10月1日現在の人口総数は推計値を上回る110,034人となっており、減少傾向は緩やかになっています。

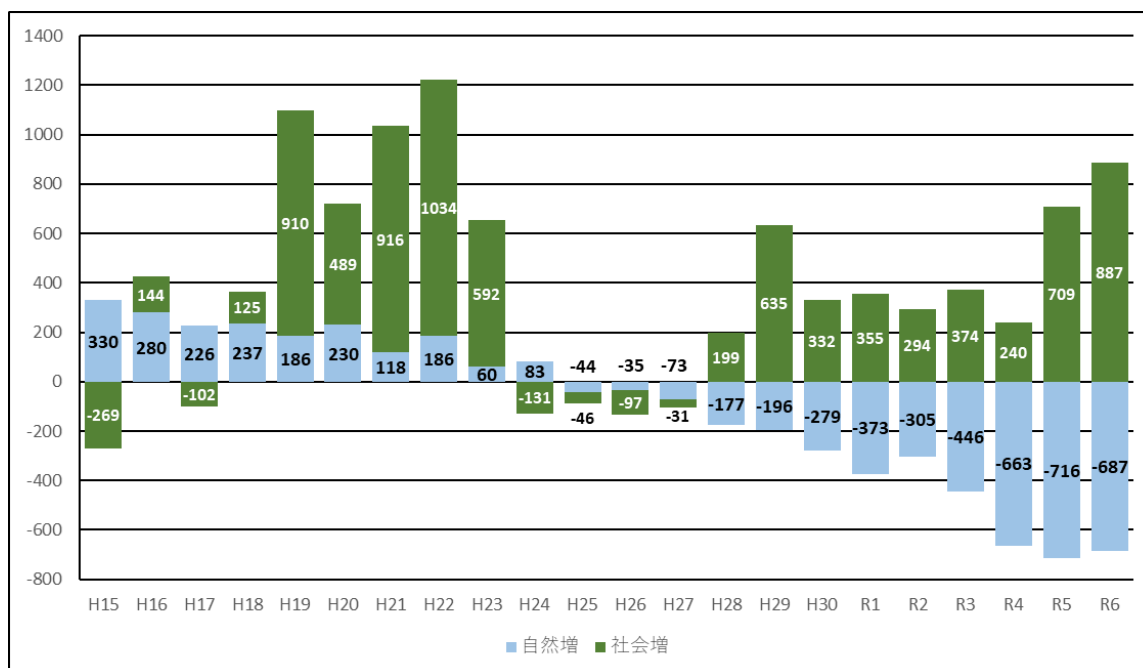


出典：鎌ヶ谷市「統計かまがや」 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

### 4 要因別人口増減数の推移

社会増減（転入者数－転出者数）については、平成24年から平成27年までは転出超過が続いていましたが、平成28年以降は転入超過に転じています。

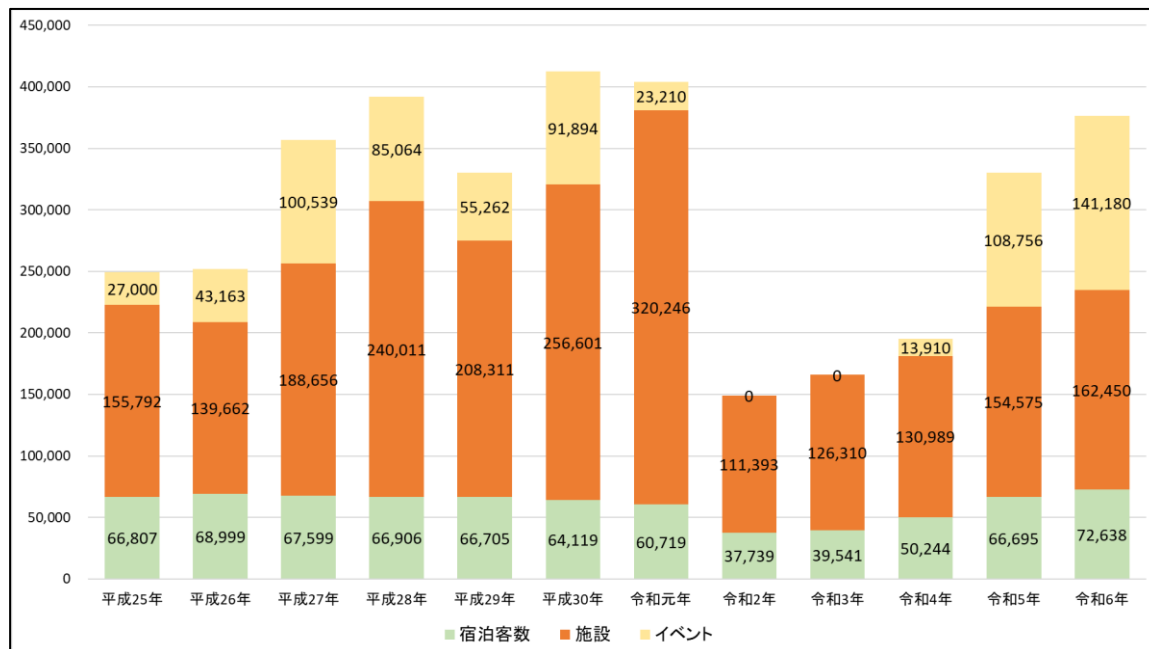
一方で、自然増減（出生－死亡）については、平成24年までは出生数が死亡数を上回っていましたが、平成25年以降は死亡数が出生数を上回っています。



出典：鎌ヶ谷市「統計かまがや」

## 5 観光入込客数の推移

観光入込客数は令和元年まで増加傾向であったものの、新型コロナウイルスの影響を受け大きく減少しましたが、令和6年は前年に引き続き、回復傾向が見られます。



## 6 施策の効果・検証について

「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施するため、重点プロジェクトで定める施策ごとに、実績等を確認することで効果の検証を行います。

効果・検証にあたっては、その妥当性或客観性を担保するため、鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議において検証し、いただいたご意見を今後の施策展開に反映していきます。

## 7 令和6年度 of 取組結果等に係る評価について

上記「6」を踏まえ、市では、令和6年度の重要行政評価指標（KPI）（施策の状態指標及び施策の柱の成果指標）や主な事務事業の実績等の評価を行いました。

鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議では、これらの事業実績について、効果・検証を行ってまいります。

## 8 状態指標、成果指標の進捗状況

【状態指標及び成果指標とは】

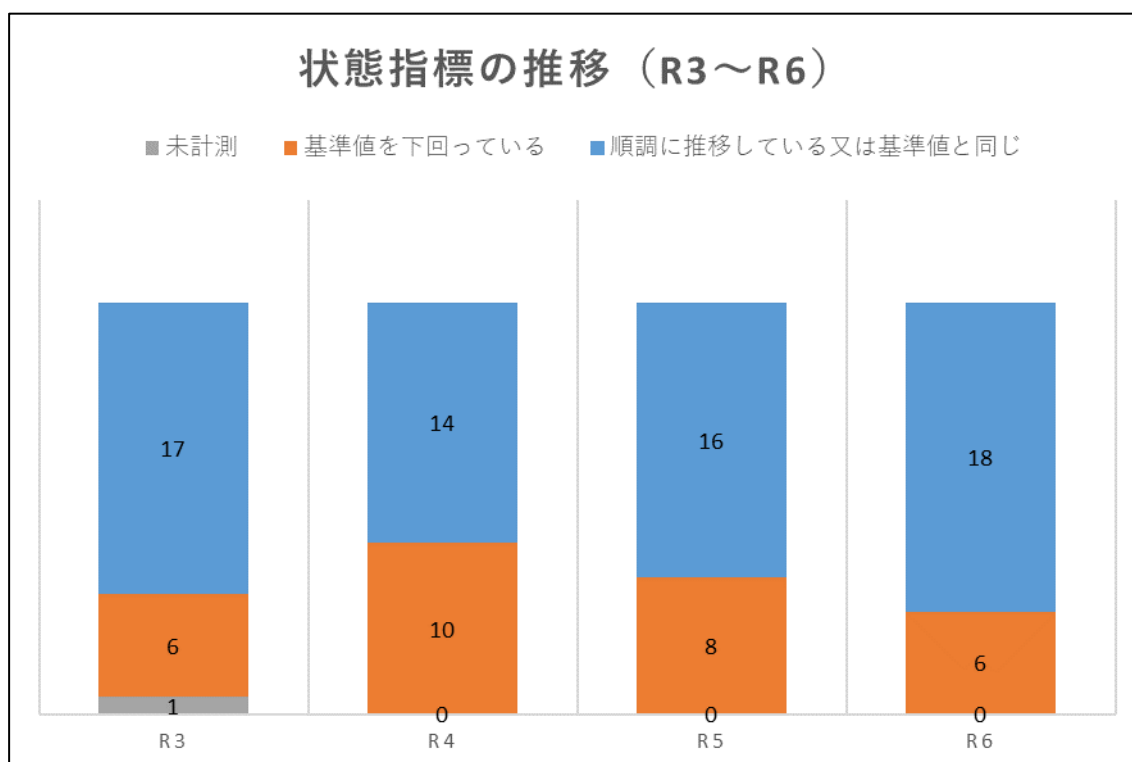
状態指標	施策のねらいにどの程度近づいているかを示す指標 ※社会経済動向で指標の実績値が変化するため「目指す方向性」を示す
成果指標	施策のねらいを達成するため、施策の柱に定める指標 ※行政活動がもたらす成果

### (1) 状態指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	状態指標数	構成割合 (%)
① 順調に推移している 又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値(※1)を上回っているもの又は基準値と同じもの	18	75.0%
② 基準値を下回っている	直近の実績値が基準値を下回っているもの	6 <sup>※2</sup>	25.0%
合 計		24	100%

※1 鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画策定時の現状値のこと

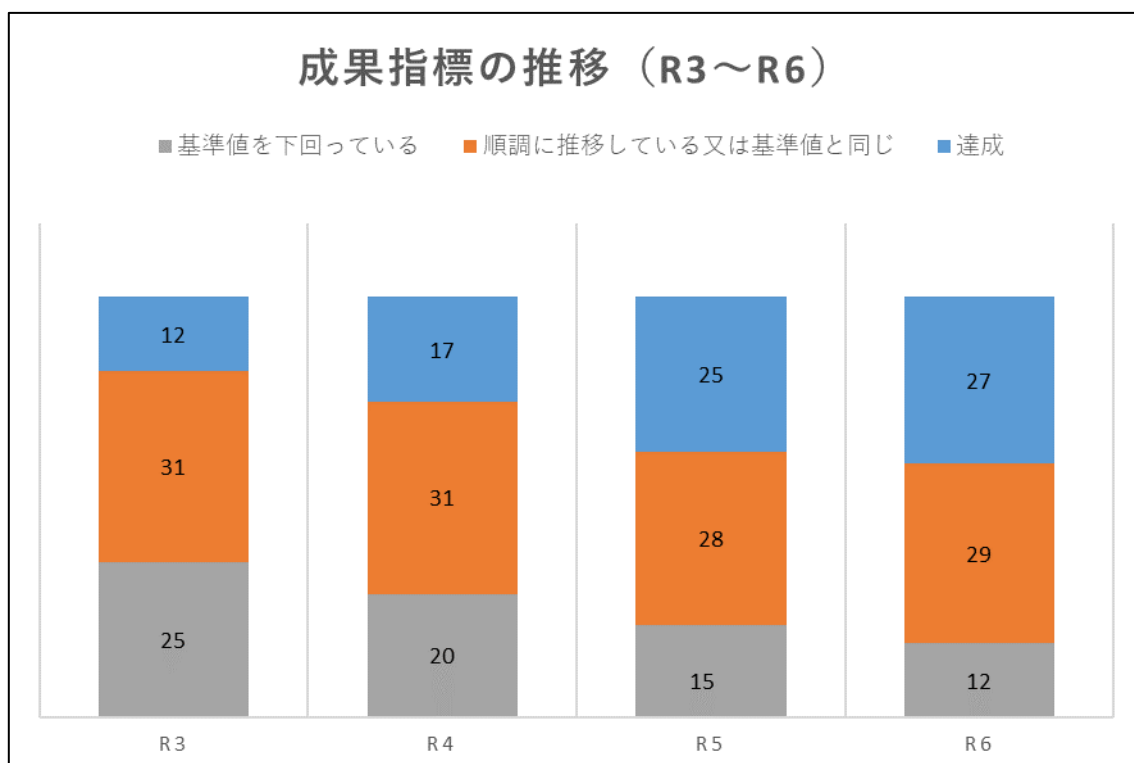
※2 6指標のうち1指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い下回ったもの



(2) 成果指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	成果指標数	構成割合 (%)
① 達成	直近の実績値が令和8年度目標値を既に達成しているもの	27	39.7%
② 順調に推移している 又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値を上回っている又は基準値と同じであり、令和8年度までの目標達成が見込まれるもの	29	42.7%
③ 基準値を下回っている	直近の実績値が基準値を下回っているもの	12*	17.6%
合 計		68	100%

※ 12指標のうち1指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い下回ったもの



## 9 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標

### (1) 状態指標 (1 指標)

状態指標名	単位	目指す 方向性	基準値		実績値		
			基準年	数値	4年度	5年度	6年度
① 災害出動件数 (火災、救急、救助)	件	↓	令和元年度	6,022	7,047	7,189	7,265

### (2) 成果指標 (1 指標)

成果指標名	単位	目標値	基準値		実績値		
			基準年	数値	4年度	5年度	6年度
① 観光入込客数	人	410,000	令和元年度	404,175	195,143	330,026	376,268

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
自主防災組織の組織率	↑	49%	49%	45%
災害協定の締結数	↑	71件	71件	71件



<写真①>

防災対策に要する経費  
(受水槽給水栓取付工事)



<写真②>

自主防災組織資器材整備に  
要する経費

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
業務継続計画（BCP）の確認及び見直し	2回	2回	2回	2回
防災体制強化研修の参加者数	400人	662人	567人	549人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	危機管理に要する経費	担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備等を進める。		
	令和6年度の実績	令和7年度の取組内容	
	業務継続計画（BCP）、危機管理マニュアルの見直しを各課に依頼し、見直しを行った。	地域防災計画に定める業務継続計画（BCP）及び緊急事態対応計画に定める危機管理マニュアルの精査・検証を行い、適宜見直しをする。	
	令和6年度決算額(千円)	3	令和7年度予算額(千円) 120

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
自主防災組織への資器材交付完了団体数（累計）	85団体	82団体	84団体	87団体
避難行動要支援者避難支援制度協力自治会数（累計）	50自治会	21自治会	22自治会	25自治会

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	自主防災組織資器材整備に要する経費	担当課	安全対策課
概要	自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
4つの自主防災組織に資器材の交付を行ったことで、資器材交付完了団体数（累計）が増加した。		引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく。また、自主防災組織を継続して支援していただくための交付制度を検討していく。	
令和6年度決算額(千円)	665	令和7年度予算額(千円)	600

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
避難所運営委員会の組織数（累計）	21組織	12組織	12組織	13組織
総合防災訓練の参加者数	2,000人	0人	2,071人	2,898人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	防災対策に要する経費		担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、ソフト・ハード両面において防災体制の強化のため計画的な整備を進めていく。			
	令和6年度の実績		令和7年度の実績	
飲料水確保のため市内中学校4校の受水槽に給水栓を設置した。	衛生用品などの物品についても更新計画を作成し計画的に更新できる体制を整え、防災備蓄品の効率的な保管場所や管理方法について検討する。また、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も更新や修繕を検討するとともに、飲料確保のための新たな手段を検討する。			
令和6年度決算額(千円)	18,499	令和7年度予算額(千円)	32,043	

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

施策の柱① 消防体制の充実

施策の柱② 火災予防の推進

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
出火率（人口1万人当たり）	↓	1.5件	1.3件	0.9件
災害出動件数（火災、救急、救助）	↓	7,047件	7,189件	7,265件



<写真③>  
消防車両更新事業



<写真④>  
中央消防署等改修事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 消防体制の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
消防車両の更新台数（累計）	16台	5台	8台	10台
予防技術資格者数	60人	44人	43人	49人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	千葉県防災行政無線再整備事業		担当課	安全対策課
概要	千葉県が実施する千葉県防災行政無線（県内の関係機関が災害情報の収集や伝達を行う無線）の再整備について事業費の1/2を負担する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
千葉県防災行政無線再整備事業として市庁舎の衛星通信用のパラボラアンテナや無線装置、端末機器としてパソコン、プリンター、防災電話、防災FAXなど各種機器の更新、交換を行い、1/2の事業費を負担した。		—		
令和6年度決算額(千円)	11,152	令和7年度予算額(千円)	0	

事務事業名	千葉県防災行政無線再整備事業		担当課	消防総務課
概要	千葉県が実施する千葉県防災行政無線（県内の関係機関が災害情報の収集や伝達を行う無線）の再整備について事業費の1/2を負担する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
千葉県が整備している千葉県防災行政無線の再整備を実施した。		千葉県防災行政無線の再整備について繰越した事業を実施する。		
令和6年度決算額(千円)	0	令和7年度予算額(千円)	8,569	

事務事業名	職員研修に要する経費	担当課	消防総務課
概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得させるため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
消防職員21人を研修派遣し、知識と技術の向上を図った。		消防力維持のため、職員25人を消防大学校等の各種研修所に派遣する。	
令和6年度決算額(千円)	3,648	令和7年度予算額(千円)	4,664

事務事業名	消防車両更新事業	担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
救急自動車1台を更新及び救急件数増加に対応するため、新たに救急自動車1台を追加配備し、救急体制の充実を図った。		鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき消防用自動車1台を更新する。	
令和6年度決算額(千円)	90,967	令和7年度予算額(千円)	69,624

事務事業名	中央消防署等改修事業	担当課	消防総務課
概要	中央消防署の施設の機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、トイレ改修・仮眠室の個室化などの内装改修工事を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
内装等改修工事が完了し、消防職員の感染防止対策の強化及び消防、防災力の強化を図った。		—	
令和6年度決算額(千円)	243,841	令和7年度予算額(千円)	0

事務事業名	鎌ヶ谷消防署改修事業	担当課	消防総務課
概要	鎌ヶ谷消防署の施設の機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、仮眠室及びシャワー室の個室化に必要な新棟を増築し、救急消毒室の拡充や資機材備蓄倉庫を整備するため、既存庁舎の施設改修を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
改修工事における契約の締結が完了し、実施設計に基づき新棟増築工事を開始した。		実施設計に基づき新棟増築及び内装改修工事を実施する。	
令和6年度決算額(千円)	102,900	令和7年度予算額(千円)	567,353

事務事業名	消火栓改修事業		担当課	警防課
概要	令和3年度から令和8年度までの鎌ヶ谷市総合基本計画に基づき、計6基の消火栓を毎年1基ずつ改修する。			
令和6年度の実績			令和7年度の実組内容	
優先度の高い腐食消火栓1基の改修を行ったことで、災害時に消防隊の選択肢が広がった。			優先度の高い消火栓1基の改修を行う。	
令和6年度決算額(千円)	3,046	令和7年度予算額(千円)	4,000	

事務事業名	消防団装備品整備事業		担当課	警防課
概要	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。			
令和6年度の実績			令和7年度の実組内容	
消防団の装備品を順次更新したことにより、各種災害活動への対応力の強化につながった。			チェーンソー、投光器及び消防用ホースの整備を計画的に行う。	
令和6年度決算額(千円)	1,848	令和7年度予算額(千円)	1,923	

施策の柱② 火災予防の推進

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
住宅用火災警報器の設置率	73.8%	73.3%	73.5%	73.7%
立入検査実施件数	400件	413件	418件	417件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	予防業務に要する経費	担当課	予防課
概要	火災予防を推進するため、消防訓練時の防火指導や住宅用火災警報器の設置普及及び適正な維持管理を啓発するとともに、建築確認申請時における消防設備の設置指導や対象物の立入検査を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
火災予防を推進するため、広報紙や市ホームページ等を活用し、住宅用火災警報器の設置普及及び適正な維持管理を啓発するとともに、建築確認申請時に適正な消防設備の設置指導を行ったことにより、住宅用火災警報器の設置率が上昇した。		住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しているが、設置後10年を経過している機器が多くなっていることから、市ホームページやSNSを活用するとともに、消防行事開催時に、設置済み機器の点検・交換等の適正な維持管理の啓発を引き続き実施する。	
令和6年度決算額(千円)	3,895	令和7年度予算額(千円)	4,052

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
救命講習開催回数	55回	36回	45回	51回
活動訓練実施回数（救急、救助）	930回	731回	939回	749回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	警防業務に要する経費		担当課	警防課
概要	救急車到着までの間、現場に居合わせた人が、適切な応急手当を実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。			
	令和6年度の実績		令和7年度の実績	
	救命講習の開催案内をホームページや市広報紙等で地域住民に呼びかけ、普通救命講習を49回、上級救命講習を2回、合計51回実施し、547人が参加した。		令和8年度から実施される消防署の当直勤務体制の変更に伴い、救命講習の開催要領の見直しを行う。	
	令和6年度決算額(千円)	15,515	令和7年度予算額(千円)	20,776

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

施策の柱① 良好な居住環境の確保

施策の柱② 安全で安心な住宅の整備

施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
住宅の耐震化率	↑	79.2%	79.7%	80.4%
市内の空家率	↓	2.3%	1.9%	1.9%



<写真⑤>  
空家等対策事業



<写真⑥>  
空家等対策事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 良好な居住環境の確保

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
木造住宅等の検査済証の交付率	100%	88%	95%	100%
宅地、建物のパトロール件数	170件	126件	178件	172件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	建築指導に要する経費		担当課	建築住宅課
概要	建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談。			
	令和6年度の実績		令和7年度の実績	
計画的な宅地、建物のパトロールを実施し、検査済証交付率は100%、パトロール件数は前年度比96%となった。	令和7年度は検査済証交付率は、前年度を上回った。パトロール件数が前年度を下回った。引き続き、宅地・建物のパトロール等を計画的に実施し、違反建築物等の防止の促進を図る。また、建築データベースシステムが令和8年度中に契約期間が終了するため精査・検証が必要。			
令和6年度決算額(千円)	10,722	令和7年度予算額(千円)	10,666	

施策の柱② 安全で安心な住宅の整備

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
住宅耐震改修促進事業補助件数	15件	11件	4件	14件
空家等の解消件数（累計）	445件	356件	699件	737件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	住宅耐震改修促進事業		担当課	建築住宅課
概要	旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助を行うもの。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
耐震補助申請及び危険コンクリートブロック塀補助申請の件数はともに前年度を上回り、全体としては前年度比350%となった。		相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の推進を図る。		
令和6年度決算額(千円)	5,617	令和7年度予算額(千円)	6,530	

事務事業名	空家等対策事業		担当課	建築住宅課
概要	空家等対策計画に基づきこれまでの空家等対策に加え、空家等の適正な管理の推進とあわせて空家等の有効活用といった視点も含め、総合的、計画的な空家等対策を実施する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
令和6年12月に鎌ヶ谷市空き家対策ガイドブックの作成・配布し、空家等除却推進事業を1件、相続財産清算人選任の申し立てを2件行った。		令和6年2月に策定した第2期空家等対策計画に基づき、空家等対策補助金の活用を促進する。また、相続財産清算人選任の申し立てを1件行う。		
令和6年度決算額(千円)	3,351	令和7年度予算額(千円)	3,051	

施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
市内公営住宅の供給戸数	401戸	411戸	411戸	411戸
外壁、屋上防水等改修率（市内公営住宅）	50.0%	20.0%	20.0%	30.0%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	市営住宅の管理運営に要する経費		担当課	建築住宅課
概要	市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
滞納者への取り組みを強化することで過年度分の徴収率は上昇したが現年度分は令和5年度97.60%から令和6年度97.22%と0.38ポイント減となった。口座振替等の利用を積極的に進めることで徴収率の向上を図る。		家賃納入について管理システムを利用した口座振替への誘導を積極的に行うとともに、滞納者については個別にきめ細かな対応をする等徴収率の向上を目指す。		
令和6年度決算額(千円)	20,290	令和7年度予算額(千円)	18,626	

事務事業名	市営住宅長寿命化事業		担当課	建築住宅課
概要	対症療法型の維持管理からの予防保全型の維持管理へ転換することによって、対象施設の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を行うことで長寿命化を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
市営住宅の長寿命化を図るため、栗野市営住宅1号棟屋上防水・外壁改修等工事及び栗野市営住宅2号棟屋上防水・外壁改修工事設計委託を完了した。		令和7年度は栗野市営住宅2号棟屋上防水・外壁改修工事及び栗野市営住宅2号棟内装改修工事設計委託を実施する。		
令和6年度決算額(千円)	134,666	令和7年度予算額(千円)	117,686	

## 重点施策④ 治水対策の推進

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
浸水面積	↓	122.1ha	122.0ha	122.0ha
床上、床下浸水件数	↓	0件	14件	0件



<写真⑦>  
準用河川整備事業



<写真⑧>  
雨水貯留池整備事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
準用河川二和川バイパス整備率	100%	83.5%	83.5%	93.3%
雨水貯留池の容量	48,720m <sup>3</sup>	43,520m <sup>3</sup>	44,758m <sup>3</sup>	44,758m <sup>3</sup>

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	河川・水路整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市の雨水流末に位置する河川、水路改修事業について、事業主体市に流域面積に応じた負担金を支出する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
紙敷川改修事業（松戸市事業主体）の整備工事を実施した。		事業主体市と協議し1時間当たり50mmの降雨に対応した整備を行う。		
令和6年度決算額(千円)	8,099	令和7年度予算額(千円)	437	

事務事業名	準用河川整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の準用河川の流下能力向上を目的に、1時間当たり50mmの降雨に対応した改修を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
準用河川二和川バイパス整備（第10期）工事を実施した。 準用河川二和川拡幅整備の用地を取得した。 準用河川二和川バイパス整備に伴う家屋補償を実施した。		浸水被害改善に向け国交付金の確保に努め、浸水被害の軽減に効果的な整備及び用地取得等を進める。		
令和6年度決算額(千円)	403,696	令和7年度予算額(千円)	358,630	

事務事業名	地域排水整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の道路冠水を解消するための地域排水施設の能力不足や未整備箇所について、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
<p>東道野辺三丁目地区地域排水整備予備設計委託を実施した。</p> <p>東道野辺五丁目地区地域排水整備事業に伴う舗装本復旧工事を実施した。</p> <p>東道野辺七丁目地区地域排水整備工事を実施した。</p> <p>浸透柵モニター事業を実施した。</p>		<p>浸水箇所の調査及び課題の整理を行い、取組方針を検討する。</p>	
令和6年度決算額(千円)	111,783	令和7年度予算額(千円)	4,480

事務事業名	雨水貯留池整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
<p>串崎新田貯留池の整備工事を行った。</p>		<p>令和6年度から繰越している串崎新田貯留池の整備工事を引き続き行う。また、整備後の効果について検証を行う。</p>	
令和6年度決算額(千円)	23,554	令和7年度予算額(千円)	37,325

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
雨水浸透柵モニター設置数（累計）	281基	220基	239基	250基
河川、水路除草面積	65,500㎡	116,489㎡	116,222㎡	119,884㎡

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	流域環境整備事業		担当課	道路河川管理課
概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
河川管理委託、河川・水路清掃委託、スクリーン清掃委託、河川・水路維持工事を実施した。		鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた効率的な点検方法の検討。		
令和6年度決算額(千円)	48,898	令和7年度予算額(千円)	48,518	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
合計特殊出生率	↑	1.14	1.06	—
子育て支援事業の満足度	↑	65.5%	69.7%	78.7%



<写真⑨>  
産婦健康診査事業



<写真⑩>  
家庭児童相談に要する経費

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
乳児家庭全戸訪問事業 訪問率	96%	93.2%	99.3%	99.5%
つどいの広場利用人数	34,000人	23,019人	24,045人	27,828人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童総務事務に要する経費		担当課	こども支援課
概要	「鎌ヶ谷市こども計画」に掲げる新たな基本理念の実現を目指し、5つの基本方針に位置づける取組を推進するとともに、地域子ども・子育て支援事業について、計画的な推進を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
令和5年度のアンケート調査、令和6年度はアンケート結果の分析からニーズを把握し、基礎資料としてたたき台を作成し、子ども・子育て会議への諮問・答申を経て、令和7年3月に鎌ヶ谷市こども計画を策定した。		こども計画やこども基本法の内容をこども向けの概要版を作成し、周知を図るとともに、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の実績等について、子ども・子育て会議に報告し、意見を集約する。		
令和6年度決算額(千円)	25,956	令和7年度予算額(千円)	12,047	

事務事業名	つどいの広場の運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	つどいの広場を開設し、おおむね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽につどい相互交流する場を提供する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
従来よりある5つの児童センターにおいて、つどいの広場を実施するとともに、新たに開館した東部児童センターにおいても、令和6年5月から週3回つどいの広場を実施した。		令和6年度に実施した利用者アンケートをもとに、ニーズに沿った事業展開を行う。		
令和6年度決算額(千円)	13,831	令和7年度予算額(千円)	18,549	

事務事業名	母子保健に要する経費	担当課	健康増進課
概要	こども家庭センターにおいて、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
妊婦面接、乳幼児健康相談・健康診査、新生児訪問、乳児家庭全戸訪問事業を実施し、また産婦健康診査、1か月児健康診査、初回産科受診料費用助成を開始し、経済的負担の軽減と共に切れ目のない子育て支援を実施した。また訪問型産後ケアの開始及び対象者を拡充し、産後の育児支援の充実を図った。		多胎妊婦健康診査費用助成事業（妊婦健康診査費用助成回数14回を超えて受診した妊婦健診について最大5回、1回につき4,500円）を開始し、多胎妊婦の経済的負担の軽減及び育児不安軽減につなげる。	
令和6年度決算額(千円)	95,041	令和7年度予算額(千円)	99,715

事務事業名	産婦健康診査事業	担当課	健康増進課
概要	産後間もない時期の産婦に対し、母体の身体的機能の回復、授乳、精神状況の把握等を行い、安心して子育てができるよう、産後2週間及び1か月健診の費用助成(1回につき5,000円)を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
対象者への受診券の配布及び市広報やホームページにて事業の周知を行った。委託医療機関での産婦健康診査での実施及び委託医療機関以外の医療機関を受診した場合の償還払いを実施した。利用者の利便性を高めるため、近隣の医療機関に委託契約が可能なか調査を実施した。		産婦健康診査の費用助成及び、産後うつの早期発見、早期対応を実施。委託医療機関について、拡大できるように近隣の医療機関と調整、契約をする。	
令和6年度決算額(千円)	3,496	令和7年度予算額(千円)	8,268

事務事業名	結婚新生活支援事業	担当課	企画財政課
概要	新婚世帯の新生活に係る住宅費及び引越費用の一部に対し、予算の範囲内において鎌ヶ谷市結婚新生活支援事業補助金を交付するもの。		
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容	
<p>38件の申請のうち37件に対して補助金を交付するとともに、2月から3月まで北総鉄道の広告媒体を活用し、事業の周知を図った。なお、本事業の申請者を対象としたアンケートでは、本事業の認知度（婚姻届出の前に本事業を認知していた割合）は54%、地域に応援されていると感じた世帯の割合は86%だった。</p>		<p>鎌ヶ谷市への転入者を対象とした事業であるため、市の事業や子育て支援などを紹介し、申請者がよりプラスな気持ちで鎌ヶ谷市に転入できるよう、懇切丁寧な対応を心掛ける。申請者とのやり取りが多いため、可能な範囲で電話番号以外の連絡方法（email）を取得する。</p> <p>当該事業の周知啓発について、新たな方法（動画作成など）を検討する。</p> <p>この他にも合計特殊出生率の向上に繋がる新たな取組について、本事業と連携して実施できるものがないかを検討していく。</p>	
令和6年度決算額(千円)	13,540	令和7年度予算額(千円)	12,000

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
児童虐待防止(子育て関係) 講座等の開催回数	38回	28回	28回	29回
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金受給者数	12人	11人	13人	11人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	家庭児童相談に要する経費		担当課	こども支援課
概要	子育てや家族に関する相談、児童虐待の予防、早期発見、支援対象児童への支援を行う。また、鎌ヶ谷市虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
家庭児童相談対応件数の増加に伴い、職員の質の向上及び負担軽減のため、緊急受理会議の確実な実施、事例検討会の開催、家庭児童相談システムのリプレイスに合わせ、会議資料のシステムを活用した作成や会議録の直接入力等業務改善を図った。		家庭支援事業のうち、新たに「子育て世帯訪問支援事業」「親子関係形成支援事業」を実施し、市民サービスの向上を図るとともに、鎌ヶ谷市児童虐待防止対策地域協議会の運営見直しを実施し、児童虐待の予防と要保護児童等への支援の充実を図る。		
令和6年度決算額(千円)	13,928	令和7年度予算額(千円)	18,822	

事務事業名	母子等福祉に要する経費		担当課	こども支援課
概要	ひとり親家庭等の父母等及び児童に対し、医療費及び調剤費の一部を助成するもの。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
経済的な支援及び自立支援を行うことにより、ひとり親家庭等の福祉の増進につながった。		国の進めるマイナンバーカードと医療費助成受給券の一体化に対応するため、令和7年度中にシステム改修等を行う。また、引き続き適正な助成事務を遂行するため、制度案内チラシの見直しを行い、市民へ制度の周知を図る。		
令和6年度決算額(千円)	58,923	令和7年度予算額(千円)	67,550	

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
児童センター利用人数	126,000人	66,966人	97,294人	144,754人
子育てサポーター活動回数	800回	458回	571回	644回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童遊園等の管理に要する経費		担当課	こども支援課
概要	市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い、児童に健全な遊びを提供する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
<p>専門業者による一斉点検により、緊急に改修が必要となった遊具については、改修を実施し、職員による定期的な点検を引き続き実施した。</p> <p>清掃・管理について相談のあった児童遊園について、自治会と内容を協議した。</p>		<p>こども達の身近な魅力的な遊び場となるよう、計画的に遊具の改修を行うとともに、児童遊園内の電灯について、LED化を進める。</p>		
令和6年度決算額(千円)	6,333	令和7年度予算額(千円)	6,285	

事務事業名	児童センターの管理運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	児童への健全な遊びを通して、その体力を増進し、情操を豊かにする。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
<p>ボランティア講師や保育士などを招いたこども体験教室や同じ年齢のお子様を持つ親子が集まり参加できる「子育てサロン」を定期的実施した。また、「機中八策」講座を各センターで実施した。</p>		<p>家庭・学校・地域と連携をとりながら、子どもの育成に適した遊びや教室を実施するとともに、乳幼児をもつ保護者を対象としたサロンや講座を開催する。</p>		
令和6年度決算額(千円)	75,463	令和7年度予算額(千円)	83,540	

事務事業名	(仮称) 東部地区児童センター設置事業	担当課	こども支援課
概要	令和6年3月に開館した東部児童センターについて、施設周辺の環境整備を行うため、案内標識の設置及び電柱の移設補償を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
県道等に案内看板を設置するとともに、移設した電柱等の移設補償を行った。		施設の適切な維持管理を行うとともに、円滑な事業運営を進めていく。	
令和6年度決算額(千円)	2,239	令和7年度予算額(千円)	0

## 重点施策② 保育サービス等の充実

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

## (1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
待機児童数（保育園、放課後児童クラブ）	→	0人	0人	0人
合計特殊出生率	↑	1.14	1.06	—



<写真⑪>  
保育園改修事業



<写真⑫>  
民間保育所等の補助に

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
子育て支援員研修の受講率	50%	26.4%	28.9%	24.3%
保育所定員数	1,635人	1,635人	1,635人	1,635人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童総務事務に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	保育認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容		
一時預かり事業や認可外保育施設を利用している児童の保護者に対し、幼児教育・保育の無償化を実現するため、これらに係る利用料の助成を行った。		適正な給付事務を継続するとともに、前年度実績に基づき事務内容、予算等を精査して事業執行の精度を向上させる。		
令和6年度決算額(千円)	17,218	令和7年度予算額(千円)	12,033	

事務事業名	民間保育所等の補助に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	民間保育所等の安定的運営のため補助を行う。また、保育士の確保、離職防止のため必要な処遇改善事業を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容		
11年連続で待機児童ゼロ（国基準）を達成した。		継続的に補助金を交付するとともに、保育事業者が必要とする物価高騰などの補助に対し、国や県の状況も踏まえ、補正予算等により対応を行う。		
令和6年度決算額(千円)	348,048	令和7年度予算額(千円)	402,420	

事務事業名	私立幼稚園等に要する経費	担当課	幼児保育課
概要	幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用給付認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
<p>法定代理受領として、私立幼稚園に対して施設等利用費の給付を行い、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>また、私立幼稚園に、研修費用等に対する補助や、開設時間を延長して預かり保育を実施している施設に対する補助を行うことで、待機児童対策の解消を図った。</p>		<p>継続的に補助金を交付するとともに、国や県の状況も踏まえ、補正予算等により対応を行う。</p>	
令和6年度決算額(千円)	419,611	令和7年度予算額(千円)	461,421

事務事業名	民間保育所等整備助成事業	担当課	幼児保育課
概要	待機児童対策及び保育サービスの充実のため、民間事業者による保育施設整備の助成を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
<p>令和7年度開設予定の認定こども園（保育機能部分定員90名）を整備するため、施設の改修設計及び工事について、運営事業者への助成を行った。</p> <p>また、令和8年度開園予定の民間保育所等（保育機能部分定員60名）を整備するため、選考委員会を開催し、運営事業者を決定した。</p>		<p>令和5年度及び令和6年度に選定した民間事業者に、認定こども園の整備に対して助成を行う。</p> <p>また、今後の保育量の見込みを踏まえ、保育の必要量が確保できるよう、新たな民間保育所等の整備について検討を行う。</p>	
令和6年度決算額(千円)	12,612	令和7年度予算額(千円)	481,311

事務事業名	保育園改修事業	担当課	幼児保育課
概要	公立保育園の保育環境を良好に維持するため、受変電設備や照明のL E D化など、必要な改修をおこなうもの。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
道野辺保育園・栗野保育園受変電設備改修工事及び鎌ヶ谷保育園A棟空調設備改修工事を完了した。 また、南初富保育園受変電設備改修設計及び栗野保育園L E D照明改修設計を完了した。		実施計画に基づき、南初富保育園受変電設備改修工事、栗野保育園L E D照明改修工事及び南初富保育園遊具改修工事を行う。	
令和6年度決算額(千円)	104,164	令和7年度予算額(千円)	84,678

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合	80%	67.9%	66.7%	72.3%
放課後児童クラブの定員数	827人	827人	827人	827人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	放課後児童クラブの管理運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
毎月、放課後児童クラブの運営状況を確認し、必要に応じて改善を指示するとともに、令和6年度は2回、主任支援員と運営方法等についての会議を開催した。		放課後児童クラブの現場確認を定期的実施するとともに、運営事業者と連携を図りながら、クラブの運営を運営していく。		
令和6年度決算額(千円)	277,993	令和7年度予算額(千円)	285,148	

事務事業名	放課後児童クラブ整備・改修事業		担当課	こども支援課
概要	「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
西部小学校第1放課後児童クラブに係る改修工事の設計を実施した。		西部小学校第1放課後児童クラブ及び道野辺小学校第3放課後児童クラブの改修工事を実施をする。		
令和6年度決算額(千円)	2,959	令和7年度予算額(千円)	25,026	

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
一時預かり事業の受入可能人数	15,840人	10,560人	10,560人	10,560人
ファミリー・サポート・センター提供会員数	195人	164人	157人	147人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
事業の委託化に向けて、関係団体との協議を行った。また、利用者の増加、利便性の向上のため、SNSでの周知、Webからの会員登録の開始等業務の効率化を図った。さらに郵送での対応を減らし、メール等での情報発信に切り替える等業務改善を図った。		現在、直営で運営している事業の業務の安定化、サービスの向上を図るため、委託化を検討していく。また、依頼件数に対応するため提供会員の確保が急務であり、登録方法及び内容を見直すとともに、研修に虐待予防の内容を追加し、提供会員の質の向上を図る。	
令和6年度決算額(千円)	3,003	令和7年度予算額(千円)	4,466

## 重点施策③ 学校教育の充実

施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

## (1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
教職員、保護者等からの学校施設満足度の割合	↑	72.3%	72.8%	76.8%
授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合	↑	85.1%	87.7%	82.2%



<写真⑬>  
義務教育施設維持補修事業



<写真⑭>  
教育指導に要する経費  
(長崎への平和派遣)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
外壁、屋上防水等改修率	35.5%	30.6%	33.9%	37.1%
小中学校トイレの整備進捗率	94.6%	100%	100%	100%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の管理運営に要する経費		担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
小学校9校において、老朽化が進む学校施設や備品等について、修繕や購入等の対応を行った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。公会計化による事務の効率化のため、DX化の検討を行う。		
令和6年度決算額(千円)	324,006	令和7年度予算額(千円)	341,104	

事務事業名	義務教育施設維持補修事業		担当課	教育総務課
概要	老朽化した学校施設、設備等について計画的に改修工事を行い、学習環境の向上を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
<p>予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。夏の熱中症対策や避難所として利用する小学校体育館3校へ空調設備設置を行ったほか、小中学校4校のLED照明改修、鎌中の老朽化した受変電設備の改修、四中の校舎屋上防水改修、5年度から繰越となった鎌中の境界フェンス設置工事等を行った。</p>		<p>【小学校】 中部小の体育館空調設備設置工事、受変電設備改修工事、校舎外壁・屋上防水工事の設計、初富小、五本松小のLED照明改修工事設計、西部小、中部小のLED照明改修工事等を行う。</p> <p>【中学校】 鎌ヶ谷中、第二中、第五中の体育館空調設備設置工事や、第二中学校及び第五中学校の受変電設備改修、鎌ヶ谷中の校舎屋上外壁防水改修、第四中のLED照明改修等を行う。</p>		
令和6年度決算額(千円)	915,247	令和7年度予算額(千円)	1,162,083	

事務事業名	義務教育施設楽器更新事業		担当課	教育総務課
概要	小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。また、リース方式により更新したグランドピアノの賃借料の支払いを行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
全小中学校に設置したグランドピアノについて、賃借料の支払いを行った。 中学校において老朽化した楽器の更新を行った。		令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノ及び令和4年度に更新した鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）について、賃借料の支払いを行う。また、各学校の要望に基づき、老朽化した高額の楽器等の更新を行う。		
令和6年度決算額(千円)	11,230	令和7年度予算額(千円)	9,758	

事務事業名	中学校の管理運営に要する経費		担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
中学校5校において、老朽化が進む学校施設や備品等について、修繕や購入等の対応を行った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。また、中学校における公会計化に伴う事務の改善事項の把握を行う。		
令和6年度決算額(千円)	171,898	令和7年度予算額(千円)	242,897	

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
ICT教育機器の1日の授業における使用割合	50%	79.9%	84.2%	85.3%
学校図書館図書標準の達成校	14校	14校	14校	14校

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の図書に要する経費		担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。			
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容		
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効利用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。		
令和6年度決算額(千円)	9,544	令和7年度予算額(千円)	9,557	

事務事業名	中学校の図書に要する経費		担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。			
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容		
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効利用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。		
令和6年度決算額(千円)	7,019	令和7年度予算額(千円)	6,975	

事務事業名	教育指導に要する経費	担当課	学校教育課
概要	鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、小学校の理科支援員の配置、日本語指導講師の派遣、デジタル教科書の継続使用、いじめ対策、自主公開助成金や研究指定助成金等を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
長崎への平和派遣事業は事前事後及び長崎における研修を全て実施した。派遣人数及びプログラム内容も変更なし。		市の研究指定で初富小学校が全教科で初年度となり、鎌ヶ谷中学校が道徳2年目となる。次年度以降の授業公開へ向けて研究を行う。担当指導主事が研究内容について確認していく。	
令和6年度決算額(千円)	68,236	令和7年度予算額(千円)	76,082

事務事業名	小中学校 ICT 環境整備事業	担当課	学校教育課
概要	GIGAスクール構想に対応した高速大容量通信ネットワークの環境維持および、児童生徒1人1台の学習用コンピュータの維持管理を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
年間を通して ICT 活用推進委員会で各学校の事例を紹介し、活用方法について共有できた。また、教育委員会学校教育課の指導訪問の際に活用方法について話し合い、活用の幅を広げることができた。教員アンケートから活用の頻度も上がっていることがわかる。		千葉県共同調達に参加し、児童生徒用端末の入れ替えがある。契約事務等遺漏がないように手続きを進めていく。	
令和6年度決算額(千円)	119,364	令和7年度予算額(千円)	187,085

事務事業名	中学校部活動地域移行事業	担当課	学校教育課
概要	中学校の部活動外部指導を5校で実施、また部活動移行に向けて外部指導者を会計年度任用職員として採用する。小中学校からの希望により社会人講師を派遣する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
各中学校で1部活以上での部活動指導員を配置した。		部活動地域移行運営協議会にて問題点の洗い出し等を行っていく。市の要項を制定する。	
令和6年度決算額(千円)	116	令和7年度予算額(千円)	7,291

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
自主公開取組み校	12校	5校	5校	6校
児童生徒と向き合う時間を確保できている教職員の割合	95%	81.6%	86.2%	85.4%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	教職員の研修に要する経費		担当課	学校教育課
概要	市内小中学校の教職員の資質・能力向上と専門性の確立を図るため、研修・研究の支援を行う。			
	令和6年度の実績		令和7年度の取組内容	
	<p>教員の指導力向上のため、授業を自主公開し、研鑽に取り組むよう学校に指導しているが、取組み校は6校であった。学校行事が通常に戻りつつある中で、他校への授業公開が少なかった。</p>		<p>教員の指導力向上のために、講師を依頼して研修を実施する。教員の自主的な研修への依頼を受けて指導主事を派遣したり、東葛飾教育事務所指導主事の派遣調整を行う。</p>	
	令和6年度決算額(千円)	398	令和7年度予算額(千円)	547

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱① 保健、安全教育の充実

施策の柱② 児童生徒の安全確保

施策の柱③ 学校給食の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
標準体重の児童生徒の割合	↑	87.1%	89.0%	87.5%
児童生徒の交通事故の発生件数	↓	16件	17件	9件
学校給食の満足度	↑	91%	93%	93%



<写真⑮>  
通学路安全対策事業



<写真⑯>  
学校給食運営に要する経費

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 保健、安全教育の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
児童生徒の定期健康診断受診率	95.5%	94.8%	94.5%	94.8%
児童生徒の定期健康診断受診勧告後の医療機関受診率	60%	53.4%	54.1%	53.6%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校保健事務に要する経費		担当課	学校教育課
概要	児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症予防等を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
就学時健康診断及び定期健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康管理を行い、結果に基づく受診勧奨を行った。環境衛生検査を行い、改善が必要な項目について把握し、必要な対策を講じた。		児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、且つ新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施する。		
令和6年度決算額(千円)	34,164	令和7年度予算額(千円)	37,971	

事務事業名	学校安全事務に要する経費		担当課	学校教育課
概要	学校管理下における児童生徒等のケガ等に対する日本スポーツ振興センターの災害共済や、全国市長会との契約による補償等に要する経費を負担する。また、小学校新1年生に交通安全用として黄色い帽子を配付する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
児童・生徒が学校管理下で発生した災害により負傷や疾病を受けた場合に、その治療（保険治療）に要した医療費や見舞金を支給し、保護者の費用負担軽減を図った。		各学校の養護教諭と連携し、事務手続きを正確に行う。		
令和6年度決算額(千円)	10,710	令和7年度予算額(千円)	11,137	

施策の柱② 児童生徒の安全確保

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
子ども自転車安全運転講習会、スケアード・ストレイト自転車交通安全教室の実施回数	11回	17回	14回	10回
こども110番の家の登録件数（累計）	1,464件	1,281件	1,251件	1,247件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	通学路安全対策事業		担当課	学校教育課
概要	第4次通学路安全対策推進行動計画の進行管理、児童生徒の安全指導等の対策を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
小中学校及びPTAから改善要望等のあった通学路について、特に点検の必要がある場所を選定し、合同点検を実施するとともに、自転車講習会などの安全指導を実施した。		通学路合同点検を実施するとともに、自転車講習会などの安全指導を継続して実施するほか、新たな子ども見守りカメラを設置する。		
令和6年度決算額(千円)	3,614	令和7年度予算額(千円)	6,404	

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業		担当課	学校教育課
概要	市内の指定通学路や公園などの場面を想定した、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
要望や緊急一斉点検で必要とされた環境整備を実施した。スケアード・ストレイト自転車交通安全教室は市内全中学校で実施した。		学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。		
令和6年度決算額(千円)	15,612	令和7年度予算額(千円)	16,307	

事務事業名	非行防止対策の推進に要する経費	担当課	青少年センター
概要	子どもたちの非行防止を図り、また安全確保を図ることを目的に補導活動等を実施し、青少年の非行防止及び健全育成を推進する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
市内の小中学校の依頼に対して、不審者情報等を配信する「子ども安全メール」の登録者数が地域の見守り活動の重要性の啓発などを行ったことで前年度より326件増加した。		引き続き子どもたちの安全安心のため、関係機関との連携を深め、各種パトロールの強化を図るとともに、新たにネットパトロールを専門業者に委託し、問題行動等の未然防止を図り、インターネットによるいじめや犯罪被害等から子どもたちを守る。	
令和6年度決算額(千円)	12,982	令和7年度予算額(千円)	14,118

事務事業名	通学路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
市道1号線及び市道49号線通学路整備で取得した用地の保全工事を実施した。 市道49号線通学路整備に必要な詳細設計を行った。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。 市道49号線は用地取得済箇所のうち延長約140mの歩道整備を行う。	
令和6年度決算額(千円)	20,851	令和7年度予算額(千円)	48,464

事務事業名	通学路・歩道等整備事業	担当課	道路河川管理課
概要	<p>登下校時における児童生徒の安全確保を図るため、通学路の交通安全施設の整備を行う。</p> <p>また、歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。</p>		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
<p>道路反射鏡12基、交通立看板38基、道路区画線7,325.8m、ラバーポール15基、グリーンベルト141.3㎡を整備した。</p>		<p>通学路安全対策および歩道等総合整備計画に基づく効果的な推進。</p>	
令和6年度決算額(千円)	36,531	令和7年度予算額(千円)	36,550

施策の柱③ 学校給食の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
鎌ヶ谷産野菜、果実使用献立数	22回	20回	24回	21回
食育指導の実施回数	34回	32回	57回	85回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校給食運営に要する経費		担当課	学校教育課
概要	安全で魅力ある学校給食を提供し、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに食への関心を高める。			
	令和6年度の実績		令和7年度の実績	
	<p>児童生徒7,527人(令和6年5月1日現在)に対し、年間184日学校給食を実施。 給食だよりを11回配付。 給食センター見学の受け入れ(742人)。</p>		<p>地産地消食材の積極的活用および学校との食育連携、食物アレルギー除去食の安全な提供を実施する。</p>	
	令和6年度決算額(千円)	942,263	令和7年度予算額(千円)	971,726

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

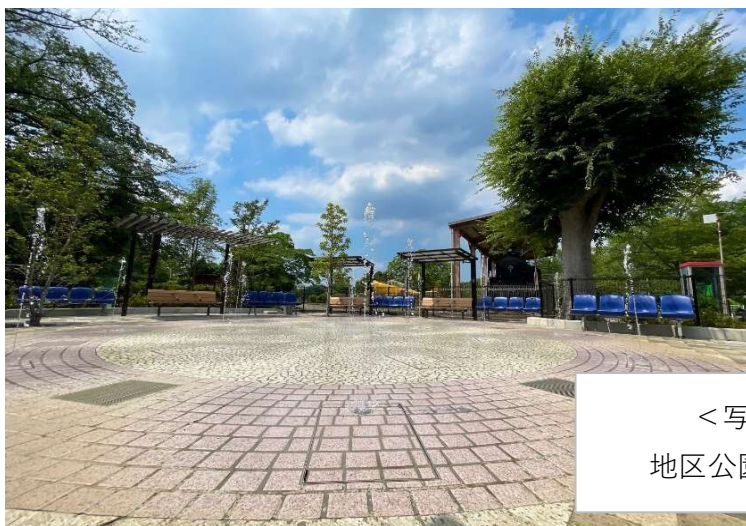
施策の柱② みどりの保全と創出

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
市民1人当たりの都市公園面積	↑	3.3㎡/人	3.4㎡/人	3.6㎡/人
緑地の面積	→	597ha	592ha	585ha



<写真⑰>  
(仮称) 緑道整備事業



<写真⑱>  
地区公園整備事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
都市公園の遊具等の改修、更新数（累計）	142基	118基	136基	145基
公園サポーター制度による協働管理の公園数	50か所	38か所	34か所	36か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	公園維持管理に要する経費		担当課	公園緑地課
概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
公園清掃、樹木の剪定や伐採、施設の更新や修繕を実施し、公園緑地の適切な維持管理の推進を図ることができたが、施設の老朽化等による修繕や、枯木等により樹木を伐採する件数が増えた。		公園施設の適正な維持管理に努める。また、公園サポーターと密に調整を行い、公園の状態に即した管理を行う。		
令和6年度決算額(千円)	267,608	令和7年度予算額(千円)	208,560	

事務事業名	公園施設長寿命化事業		担当課	公園緑地課
概要	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行い、安全性の確保を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
10施設の更新工事の実施により施設の長寿命化、利用者の安全の確保及び財源の平準化ができ大幅に改修、更新数を伸ばすことができた。		公園施設長寿命化事業として、公園遊具更新工事（10,989千円）、公園灯LED化工事（35,662千円）、貝柄山公園北口トイレ改修工事（61,610千円）を行う。		
令和6年度決算額(千円)	22,413	令和7年度予算額(千円)	114,920	

施策の柱② みどりの保全と創出

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
保全林指定数	10か所	10か所	10か所	10か所
公園等設置数	256か所	244か所	247か所	253か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	(仮称) 緑道整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	新鎌ヶ谷駅から北初富駅までの東京10号線延伸新線跡地について、令和7年度の供用開始に向けて自転車歩行者専用道路の整備を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
新鎌ヶ谷・北初富地区自転車歩行者専用道路整備工事を実施した。		—		
令和6年度決算額(千円)	168,290	令和7年度予算額(千円)	11,540	

事務事業名	緑化推進に要する経費		担当課	公園緑地課
概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
緑道整備事業における令和6年度分の用地購入費を支払った(令和7年度に完済予定)		公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。		
令和6年度決算額(千円)	21,457	令和7年度予算額(千円)	23,272	

事務事業名	地区公園整備事業	担当課	公園緑地課
概要	市制記念公園の水遊び場及び周辺設備の整備工事を実施する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
市制記念公園に未就学児が楽しめる水遊び場を令和6年5月3日にプレオープンを実施し、本格オープンとして7月1日から利用開始し10月14日まで稼働した。		水遊び場を快適に利用できるよう、日除け屋根とベンチを設置し、来園者の無理のない動線確保するため、駐輪場の整備を行う。 (6,186千円)	
令和6年度決算額(千円)	28,955	令和7年度予算額(千円)	6,186

事務事業名	街区公園整備事業	担当課	公園緑地課
概要	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
丸山三丁目ふれあいの森公園整備工事が完了した。鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園整備付帯工事が完了した。嚙子水公園の再整備に伴う基本設計を策定した。		西佐津間公園における、寄附を受けた土地を活用するため、測量及び実施設計を行う。	
令和6年度決算額(千円)	128,653	令和7年度予算額(千円)	8,385

事務事業名	(仮称) 緑道整備事業	担当課	公園緑地課
概要	東京10号線延伸新線跡地の「公園・緑地・広場ゾーン」について、緑にふれあい、市民のコミュニティ、憩い、健康増進の機能を有する施設の整備を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
基本設計及び実施設計委託を令和6年5月に完了した。		街区公園（(仮称) 緑道）の整備工事を行う。	
令和6年度決算額(千円)	10,012	令和7年度予算額(千円)	255,047

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱① 計画的な道路網の整備

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
市道延長	↑	246km	247km	247km
交通事故発生件数	↓	215件	242件	226件



<写真⑱>  
主要市道整備事業



<写真⑳>  
交通安全施設更新事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 計画的な道路網の整備

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
都市計画道路整備率	38.7%	30.3%	30.3%	33.5%
都市計画道路事業認可区間における用地取得率	100%	53.4%	54.1%	54.5%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	主要市道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	主要市道の歩道整備や舗装改良などを行い、利用者の安全性や利便性を高め、生活環境の向上を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
市道20号線道路改良工事を実施した。 市道22号線及び市道1512号線の舗装改良工事を実施した。 市道修繕調査（FWD調査）及び路面性状調査を実施した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。	
令和6年度決算額(千円)	199,583	令和7年度予算額(千円)	154,669

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	交通の円滑化と周辺地域の利便性向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパス道として県が事業主体となり整備を進めている。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
バイパス整備に必要な用地取得及び調査等を実施し、その経費に係る地元負担金を千葉県へ支出した。		引き続き、千葉県と連携し情報共有を図りながら効率的な用地取得に取り組む。	
令和6年度決算額(千円)	2,852	令和7年度予算額(千円)	5,768

事務事業名	新京成線連続立体交差事業	担当課	道路河川整備課
概要	千葉県が事業主体となり、本市の中心市街地を東西に走る新京成線を高架化し、踏切を除却することで地域分断や交通渋滞の解消など安全性及び利便性を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
関連側道等の整備に係る地元負担金を千葉県へ支出し、事業が完了した。		-	
令和6年度決算額(千円)	203,030	令和7年度予算額(千円)	0

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	新鎌ヶ谷地区を東西に連絡する都市計画道路を整備することにより周辺地区の交通渋滞などを解消させるとともに歩行者等の安全性を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備に必要な用地を取得した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。	
令和6年度決算額(千円)	24,107	令和7年度予算額(千円)	1,827

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
主要市道、一般市道改良延長	870m	787m	787m	1,343m
交差点改良事業における用地取得率	100%	48%	50.2%	50.2%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交差点改良事業		担当課	道路河川整備課
概要	交通量の多い主要な交差点を対象に、歩道設置や右折車線設置等の交差点改良を実施し、利用者の安全性の向上を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
市道22号線交差点、市道5・1512号線交差点改良事業に必要な用地を取得した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。		
令和6年度決算額(千円)	35,006	令和7年度予算額(千円)	23,553	

事務事業名	一般市道整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	一般市道において、排水施設の整備、舗装改良、狹隘路線の拡幅を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
市道2107号線、市道2217号線道路改良工事に必要な用地を取得した。 市道2217号線道路改良工事を実施した。 市道2334号線車両待避所整備工事を実施した。 市道4309・4335号線排水整備工事を実施した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。 市道3818号線周辺の土砂災害対策の検討に向けた現地測量を行う。		
令和6年度決算額(千円)	82,225	令和7年度予算額(千円)	91,942	

事務事業名	私道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
私道舗装整備工事（初富小学校前道路管理組合）を実施した。		申請のあった際には早期に私道整備工事を発注することが出来るよう、申請者と調整を行う。 私道舗装整備工事（鎌小正門前道路管理組合）を行う。	
令和6年度決算額(千円)	1,682	令和7年度予算額(千円)	396

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
交通安全教室の開催数	22回	16回	20回	22回
交通安全施設更新件数（累計）	155基	90基	96基	96基

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交通安全対策に要する経費		担当課	道路河川管理課
概要	交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
高齢者、小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室の実施		啓発パンフレットの有効な配布と活用、交通事故発生箇所における安全対策の検証。		
令和6年度決算額(千円)	28,231	令和7年度予算額(千円)	27,732	

事務事業名	交通安全施設更新事業		担当課	道路河川管理課
概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路反射鏡等）の更新工事を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
視線誘導標 1基、交通立看板 5枚、車線分離標 5基を更新した。		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。		
令和6年度決算額(千円)	2,856	令和7年度予算額(千円)	2,600	

事務事業名	道路維持・補修事業	担当課	道路河川管理課
概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を基に調査、検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
道路補修・清掃委託、排水管（溝）清掃委託、道路維持工事を実施した。		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討	
令和6年度決算額(千円)	168,050	令和7年度予算額(千円)	126,453

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

施策の柱③ 公共交通体系の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
社会増加数（市内転入者数と転出者数の差）	↑	355人	709人	887人
市内8駅（東武野田線2駅、新京成線5駅、北総線・成田スカイアクセス線1駅）の1日当たりの乗降客数	↑	152,927人	162,292人	168,532人



<写真⑳>

景観形成事務に要する経費



<写真㉑>

コミュニティバス運行助成事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
まち並みや景観の満足度	60%	38%	39%	44%
新鎌ヶ谷地区事業所数	340事業所	363事業所	375事業所	381事業所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	都市計画事務に要する経費		担当課	都市計画課
概要	市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
生産緑地地区の廃止について都市計画審議会を開催し都市計画決定変更の手続きを行うとともに変更後の都市計画図を作成した。		都市計画変更に関する様々な事項について、都市計画審議会に諮り手続きを進める。		
令和6年度決算額(千円)	4,084	令和7年度予算額(千円)	4,204	

事務事業名	景観形成事務に要する経費		担当課	都市計画課
概要	鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届け出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門的意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
令和6年10月17日付けで景観審議会を開催。景観条例に基づく届出は38件あり、事務処理を行った。景観アドバイザーに諮る案件はなかった。		景観届出内容について、現状を景観審議会に報告し検証を行う。また、景観の周知を目的として創設した「わたしの好きな鎌ヶ谷 絵画・写真展」景観賞の審査を景観審議会で行う。		
令和6年度決算額(千円)	34	令和7年度予算額(千円)	71	

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
駅前広場整備着手数	2件	2件	2件	2件
新鎌ヶ谷駅の1日当たりの乗降客数	116,000人	102,949人	110,526人	115,565人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	北千葉道路沿線土地利用整備構想策定事業		担当課	都市計画課
概要	市長公約である「北千葉道路の整備を見通したまちづくり」を進めるため、北千葉道路沿線の将来土地利用に係る調査・検討を行い、整備構想を取りまとめる。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
関係機関と協議を行い、「鎌ヶ谷市市街化調整区域の土地利用方針策定業務」の業務内容を決定し、委託業務を発注した。		オープンハウスやパブリックコメントを実施し、将来土地利用方針に係る情報を市民に周知するとともに、市民意向をとりまとめ、将来土地利用方針を作成する。		
令和6年度決算額(千円)	14,442	令和7年度予算額(千円)	13,093	

事務事業名	都市軸形成促進事業		担当課	都市計画課
概要	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
初富駅周辺整備事業において必要な地質調査、物件調査及び用地保全工事等を実施した。		用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。		
令和6年度決算額(千円)	7,288	令和7年度予算額(千円)	73,612	

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	担当課	都市計画課
概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
千葉県から用地を取得後、公募型プロポーザルによる企業誘致を実施し、事業者を決定した。		公募型プロポーザルにより決定した事業者と開発に向けた協議を行う。	
令和6年度決算額(千円)	801,860	令和7年度予算額(千円)	0

事務事業名	近隣商業拠点整備事業	担当課	都市計画課
概要	近隣商業拠点の一翼を担う北初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
用地取得を推進するため、所有者不明土地管理人制度に基づく申立てを裁判所に行い、所有者不明土地管理人が選任された。また、北初富駅周辺整備事業において必要な地質調査等を行った。		用地確保のため、関係地権者と合意形成を図る。また、北初富駅前広場の整備に必要な詳細設計や路線測量を実施する。	
令和6年度決算額(千円)	4,063	令和7年度予算額(千円)	347,596

施策の柱③ 公共交通体系の充実

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
公共交通に対する満足度	70%	52%	37%	33%
コミュニティバス利用者数	167,000人	121,755人	135,607人	146,466人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	コミュニティバス運行助成事業		担当課	都市計画課
概要	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会で課題及び対応策を整理し、市民からの意見等も踏まえた提言をとりまとめた。		鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会で課題及び対応策を整理し、市民からの意見等も踏まえた提言をとりまとめ、提言に対して対応した運行計画を作成し、令和8年度からの新たな運行に向けて準備を図る。		
令和6年度決算額(千円)	82,858	令和7年度予算額(千円)	89,857	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R4	R5	R6
市内の事業所数（経済センサス 基礎、活動調査）	↑	—	—	—
製造業の事業所数（経済産業省 工業統計調査）	↑	113事業所	113事業所	114事業所

※「市内の事業所数（経済センサス 基礎、活動調査）」の実績値について、基礎調査は5年ごと、活動調査も令和3年以降、5年ごとに実施。令和6年度に実施した基礎調査の公表は令和7年12月ごろを予定。



<写真⑳> 創業支援事業



<写真㉑> 観光振興に要する経費

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
創業支援セミナー参加者数	150人	158人	171人	203人
市制度融資実行件数	30件	28件	20件	21件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	商工業振興に要する経費		担当課	商工観光課
概要	市内中小企業等が組織する団体に対して、補助金交付等による支援を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
<p>商工会や商店会等、14団体に対して、補助金を交付した。</p>		<p>老朽化した商店会街路灯の撤去やLED化を促進することにより、高騰が続いている光熱費等の負担軽減を図ることで、地域活性化に繋がる各商店会のイベント開催を後押しする。</p>		
令和6年度決算額(千円)	23,348	令和7年度予算額(千円)	24,563	

事務事業名	中小企業資金融資等に要する経費		担当課	商工観光課
概要	制度融資の実行や、当該融資における利子補給金の交付等により、中小企業の支援を行う。			
令和6年度の実績		令和7年度の実績		
<p>新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、令和6年度は利子補給率の加算や信用保証料の補給を行わなかったが、市HPへの掲載や金融機関等でのパンフレット配架により周知を図った結果、融資件数及び融資金額ともに前年度を上回った。</p>		<p>引き続き市中金利が上昇傾向にあることから、国の施策を注視しつつ、次年度以降の本市資金融資制度の金利の決定における参考とするため、近隣市等と情報交換の促進を図る。また、制度融資の利用促進及び事務手続きの簡素化のため、制度の見直しに取り組む。</p>		
令和6年度決算額(千円)	98,258	令和7年度予算額(千円)	99,042	

事務事業名	空き店舗活用事業	担当課	商工観光課
概要	まちの賑わい創出を図るため、空き店舗を活用し、商店会の集客及びイメージアップに繋がる事業を行う出店者に対し、店舗改装費等の総額2分の1（上限70万円）を補助する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
3件の店舗に補助金を交付した。		より多くの人に活用してもらえよう様々な媒体での周知を行うとともに、補助金活用者の事業継続に繋がるよう実績報告会等を開催し、フォローアップを行う。	
令和6年度決算額(千円)	2,610	令和7年度予算額(千円)	2,800

事務事業名	創業支援事業	担当課	商工観光課
概要	本市では創業支援を行うべく、「創業支援等事業計画」の認定を国から受けている。 計画に基づき、創業支援セミナーを専門性に長けた民間事業者へ業務委託し、		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
創業支援セミナー（基礎コース2回、実践コース5回、テーマ特化コース3回）及び個別相談会、起業家交流会を開催した。		「創業支援等事業計画」に基づき、創業支援セミナーについて、よりよい内容で運営できる事業者の選定を行う。	
令和6年度決算額(千円)	2,690	令和7年度予算額(千円)	3,000

事務事業名	コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	担当課	商工観光課
概要	コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象者に補助金を交付し、新たに起業する人や市内事業者の支援を行う。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
市内で新サービス以外の業務を1年以上継続して営んでいる法人3件に対し、補助金を交付した。		複数の団体の専門的な知識をもつ委員で評価審査会を運営し、多角的な審査を行うとともに、コミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金及び空き店舗活用補助金活用者の実績報告会への参加を促し、事業者同士の交流の場を創出することにより、更なる事業者間の連携を促す。	
令和6年度決算額(千円)	3,007	令和7年度予算額(千円)	4,034

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
企業誘致件数（累計）	3件	0件	2件	1件
無料職業紹介所の紹介による就職人数	130人	52人	58人	32人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	雇用安定事務に要する経費	担当課	商工観光課
概要	中小企業退職金共済掛金補助金の交付や無料職業紹介の充実及び就職支援セミナー等の開催により雇用の安定化を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
就職支援セミナーを近隣自治体等と連携して計10回開催したところ330人といった多くの人の参加があった。また、就職相談会を毎月開催し、就職支援につなげた。		雇用の安定化を図り、求人求職の相談・紹介をしやすいするため、中小企業退職金共済掛金補助金や無料職業紹介所の積極的な周知を行う。併せて、各種就職支援セミナーを近隣自治体と連携して市広報誌・ホームページ・SNSにより周知及び実施し、積極的な就職支援を行う。	
令和6年度決算額(千円)	5,060	令和7年度予算額(千円)	5,375

事務事業名	企業誘致基本計画推進事業	担当課	商工観光課
概要	企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に基づき、企業・地権者訪問等を実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企業誘致の促進を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の実組内容	
金融機関43支店を訪問し、企業誘致促進のPRを行った。なお、令和6年度は、新たな訪問先として市外信用金庫を対象とし、さらなるPRを行った。		金融機関との更なる連携強化及び進出予定企業の開業に向けた支援を行う。	
令和6年度決算額(千円)	2,977	令和7年度予算額(千円)	2,724

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

成果指標の名称	目標値	R4	R5	R6
観光入込客数	410,000人	195,143人	330,026人	376,268人
観光イベント参加者の満足度	80%	98.6%	97.3%	98.0%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	観光振興に要する経費	担当課	商工観光課
概要	観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取組を行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助金を支出する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
<p>特派員制度の在り方に関する情報収集では、「木更津マガジン」の市民ライターワークショップの見学及び市職員へのヒアリングを行い、調査研究を行った。特にワークショップでは専門性を持つ講師から写真の撮り方や文章のコツ等のアドバイスがあり、市民ライターの取組を支援している点を確認した。車座集会（提案版）では、第1回として広報のデザインについて検討し、観光ビジョンにおける課題でもある情報発信の強化に向けた職員間の情報共有をスタートした。</p>		<p>観光は総合産業という視点のもと、関係部署や事業者と連携し、第2期観光ビジョンに基づいた事業を実施する。また、第2期観光ビジョンで定めた新規アクションに着手するとともに、28のアクションの実施状況を把握し、第2期観光ビジョンを進行管理する。</p>	
令和6年度決算額(千円)	1,023	令和7年度予算額(千円)	1,129

事務事業名	ファイターズ（鎌ヶ谷スタジアム）連携強化事業に要する経費	担当課	商工観光課
概要	知名度の向上や地域の活性化など多分野にわたり取組を広げていくため、本市の重要な地域資源であるファイターズ鎌ヶ谷スタジアムと連携して事業を実施する。		
令和6年度の実績		令和7年度の実績	
<p>本市初のエスコンフィールドHOKKAIDOにおける冠試合である鎌ヶ谷デーや、茨城県内でのイースタンリーグ公式戦における市PRブースの出展等において市や名産品のPRを行ったほか、「かまがや☆子どもサポートクラブ」や「鎌スタ☆サマースクール～てらこや～」といった球団が実施している子供向けの事業への協力も行った。</p>		<p>球団との連携を強化しつつ、既存事業のほか、市としては新規事業となるファイターズ鎌ヶ谷スタジアムを活用したスポンサーデーの実施など、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムを活用したPR事業や子供向けの事業等の実施を行う。</p>	
令和6年度決算額(千円)	11,017	令和7年度予算額(千円)	2,880



## 令和6年度開始事業に係る評価及び検証

デジタル田園都市国家構想交付金は、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、国が地方公共団体に対して交付金を交付することにより、デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組の加速化・深化を図ることを目的とした交付金です。

交付金制度要綱では、認定基準の一部として「官民協働」「事業推進主体の形成」が挙げられており、事業推進主体については、「特に様々な利害関係者が含まれつつ、リーダーシップを持つ人材がその力を発揮できる体制を有した推進主体であることが望ましい」とされています。

今回、令和6年度から開始された本事業について、初年度における利用実績や決算額等が取りまとめられましたので、地方創生総合戦略推進会議にて評価・検証をいただき、ご指摘・ご意見を踏まえ、今後の事業改善に向けた取組を進めて行くものです。

事業名	市民協働投稿サービス	担当課	道路河川管理課
概要	道路の損傷等をスマートフォンアプリを使って市民が投稿することで、市民と自治体、市民と市民の間で課題を共有、市民と自治体が協働対応することにより、効率的に課題を解決するもの。		
令和6年度の実績		令和7年度 of 取組内容	
スマートフォンアプリにより投稿数は、令和6年6月の運用開始から令和6年度末までの間（約10か月間）に、3か年の目標値である150件を超える255件に上り、市民からの積極的な情報提供が得られた。 なお、内訳としては、特定人物からの大量投稿や外部取次案件等、本来の目的に沿わない投稿も多く見られた。		スマートフォンアプリのダウンロードや投稿の促進、満足度の維持・向上を図りつつ、本来の目的に沿った投稿を増やすべく、他自治体における運用事例を調査した上で、市民に対し適切な利用方法について周知する等の対応を行う。	
令和6年度決算額(千円)	1,377	令和7年度予算額(千円)	1,584
KPI（重要業績評価指標）①		基準年度	基準値
アプリMy City Reportのダウンロード数（件）		なし	なし
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		75	141
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		180	—
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
KPI（重要業績評価指標）②		基準年度	基準値
アプリMy City Reportの投稿数（件）		なし	なし
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		50	255
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		100	—
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
KPI（重要業績評価指標）③		基準年度	基準値
市民協働サービスの満足度（5点満点）		なし	なし
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		2.8	3.1
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		3	—
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
	3.2	—	

事業名	キャッシュレス決済導入事業	担当課	会計課
概要	令和3年度（令和4年1月）から市民課・課税課・収税課で先行導入し、証明書発行手数料等の支払いにキャッシュレス決済が可能となった。令和6年度は本庁舎内（会計課）に1台増設し、市民課・課税課・収税課以外の手数料等についてもキャッシュレス決済を拡大していくことで、市民サービスの向上、非接触環境による感染症対策、及び事務のデジタル化・効率化を図る。		
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容	
キャッシュレス決済端末は本庁舎1階 会計課に設置しているが、決済に当たっては窓口担当課職員が市民と共に会計課まで移動しなければならず、市民・職員双方に負担がかかること等から、令和6年10月の導入後、1件の利用もない状況となった。		必要なときにその場で決済できるようになることが、キャッシュレス決済の本来のメリットであることを念頭に、決済端末の設置場所や決済の流れ等を見直す観点から課題を見定め、市民が利用しやすい決済環境について改めて検討する。	
令和6年度決算額(千円)	775	令和7年度予算額(千円)	266
KPI（重要業績評価指標）①		基準年度	基準値
会計課窓口のキャッシュレス比率（%）		なし	なし
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		10.8	0
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		12	—
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
KPI（重要業績評価指標）②		基準年度	基準値
キャッシュレス決済サービスの満足度（%）		なし	なし
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		40	0
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		50	—
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
	60	—	

事業名	下水道台帳インターネット閲覧	担当課	下水道課
概要	<p>下水道台帳のインターネット閲覧を導入します。          導入により、閲覧者は時間や場所に関係なく閲覧が可能となる為、閲覧者の利便性が向上するほか、窓口における複写の縮減により業務量の削減を図るもの。</p>		
令和6年度の実績		令和7年度の取組内容	
<p>令和6年11月のサービス開始から年度末までに710件の利用があった一方、窓口での相談件数、電話による問い合わせ件数はともに減少していることから、閲覧者の利便性向上及び職員の業務量削減が進んでいる。</p>		<p>更なる利用増を実現し、利便性向上及び業務削減の効果を拡大していくため、閲覧者に対する効果的な周知方法を検討した上で、ホームページ、口頭等でのサービス周知を継続していく。</p>	
令和6年度決算額(千円)	3,575	令和7年度予算額(千円)	2,750
KPI（重要業績評価指標）①		基準年度	基準値
窓口等における複写代を徴する対応件数の減少（件）		令和5年度	2500
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		2100	2160
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		1750	
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
		未設定	
KPI（重要業績評価指標）②		基準年度	基準値
下水道台帳公開によるアクセス件数（件）		なし	なし
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		400	710
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		800	
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
		1250	
KPI（重要業績評価指標）③		基準年度	基準値
窓口・電話による問合せ件数（件）		令和5年度	1000
		令和6年度末 目標値	令和6年度末 実績値
		850	810
		令和7年度末 目標値	令和7年度末 実績値
		700	
		令和8年度末 目標値	令和8年度末 実績値
		500	